

「バンカラ」の意味を ご存知ですか？

「バンカラといえば近大だ」とよく言われます。「バンカラ」とは、風采や言動が勇ましいことで、明治時代に欧米化を礼賛し、ハイカラー（高襟）のシャツをつけたエリート官吏などを比喻する「ハイカラ」という言葉に対する反骨精神から生まれた造語です。

夏目漱石や永井荷風も小説の中で「蛮殻」「蛮カラ」などと漢字まじりで表現し、「ハイカラ」と相對する意味で使いました。素朴、剛健、無骨、勇猛など、力強いイメージを持つこの「バンカラ」という言葉が、「反骨の政治家」と呼ばれた世耕弘一が創設した、近畿大学のイメージとして結びつけられたのも理解できます。

しかし、最近では新学部の創設に伴う新棟建設をはじめ、情報処理教育棟（KUDOS）や英語村E³[e-cube]、女子専用パウダールームの設置など、キャンパスの整備をすすめ、

キャンパスがきれいな大学2位（2010年）※
女子高校生の知名度1位（2011年）※
女子の志願者3万人超（2011年度（べ人数）

など、近畿大学は「バンカラ」なイメージから、どんどん変化しています。

近畿大学を訪れたとき、昔の姿をご存知の方は、きれいな校舎と、女子入学生が3割を超える東大阪キャンパスの、華やかな変貌に驚かれることと思います。時代の変化にともない、未来に向けての様々な取り組みが「バンカラ」といったイメージの「殻」を破り、あたらしい近畿大学を生み出しています。

本年も「バンカラ」だけではない近畿大学の「コレカラ」にご注目ください。

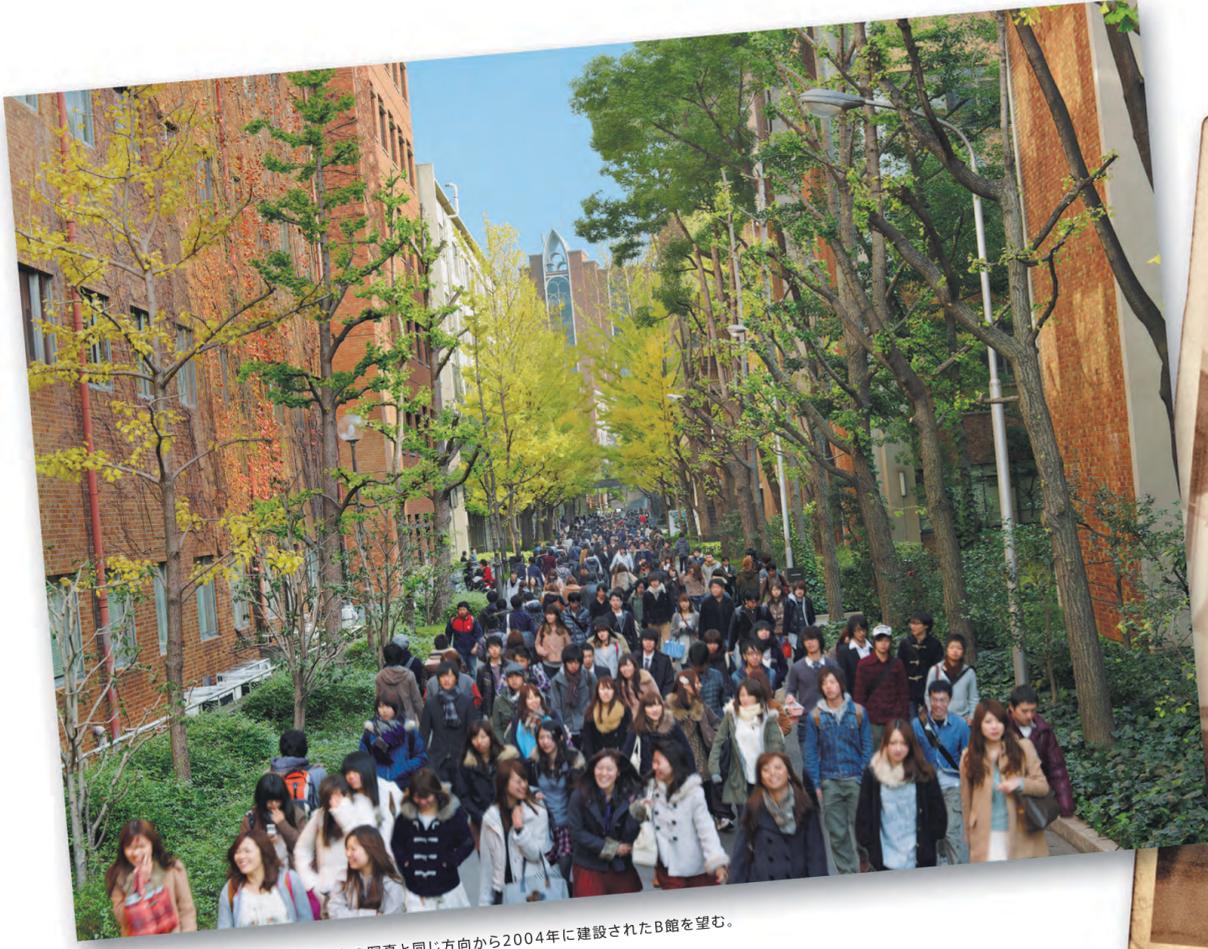
※2010年、2011年リクルート進学ランド力調査（関西の高校生約3,000人への全国の大学イメージ調査より）

〈追記〉全国の「バンカラ」ファンの皆様へ

よき「バンカラ精神」は現在の近大生に男女を問わず、脈々と引き継がれています。安心を。



▲ 1970年頃の近畿大学



▲ 現在の近畿大学東大阪キャンパス。右の写真と同じ方向から2004年に建設されたB館を望む。

■ 教育環境のさらなる充実をめざし、2000年以降キャンパス整備に取り組んでまいりました。



東大阪キャンパス、奈良キャンパス（農学部）、和歌山キャンパス（生物理工学部）がGoogle マップのストリートビューでご覧いただけます。

1月3日から一般入試（前期）出願受付開始 [医学部は受付中です。]

